

－当院にてカフ型カテーテル挿入を行った患者様へ－

【臨床研究に関する情報公開について（オプトアウト）】

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さんへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究や、余った検体のみを用いるような研究については、国が定めた指針に基づき対象患者さんから直接同意を取得する代わりに、研究の目的を含めて情報を公開し、更に拒否の機会を保証する方法があり、このような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた臨床研究は、下記のとおりです。なお、研究への協力を希望されない場合は、概要に記載されている担当者までお知らせください。研究不参加を申し出られた場合でも、不利益を受けることはありません。

- 研究課題名： 当院におけるカフ型カテーテル患者の調査
－看護師の立場から患者の支援について検討する－
- 所属： 社会医療法人景岳会 南大阪病院 看護部
- 研究責任者： 市川 裕美
- 研究対象期間： 2019年1月～2023年12月（5年間）
- 研究目的と意義： 透析患者さんの高齢化・透析歴延長によるバスキュラーアクセスの変遷・多様化に応じた必要な支援を検討し報告することで、カフ型カテーテルを有する患者さんのQOL（生活の質）向上に寄与することが目的となります。
- 研究内容：
 - 対象となる患者さん
研究対象期間に、当院にてカフ型カテーテル挿入を行った患者さん
 - 利用するカルテ情報
平均年齢、性別、介護度、入院日数、挿入理由・目的・前のアクセスの種類、感染の有無・部位、抜去理由、退院先（自宅・療養型病院・老人ホーム等）、管理指導対象者、指導時の反応、看護記録等
 - 研究方法
後ろ向き調査研究
 - 利用する研究機関の範囲
社会医療法人景岳会 南大阪病院、透析関連学会

個人情報の取り扱いについては、氏名や住所など患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたしますので、第三者に特定されることはありません。プライバシーへの最大限の配慮を行った上で、研究成果は学会や学術雑誌などで公表される予定です。

【問い合わせ及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】

社会医療法人景岳会 南大阪病院 看護部 市川 裕美
〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋 1 丁目 18-18
Tel: 06-6685-0221 (代)